

臨床検査専門科目	臨床検査体験実習					
		2単位	実験・実習	平成30年度	後期	4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	臨床検査体験実習					
担当教員	◎近藤明 中村彰宏					
目的	天理よろづ相談所病院臨床検査部において行われている臨床検査を、現場のスタッフと同じ意識をもって実体験する。特に配属された臨床検査部検査室において実際の検査手法を深く知る。					
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・配属された検査室において、現場の臨床検査技師が日常行っていることを理解できる。 ・検査機器試薬等の精度管理方法を未然に防ぐための対処方法を理解できる。 ・検体や患者さんを間違えない確認方法をおよび間違えた際の対応について理解できる。 ・検査実施中の異常の早期検出と対処方法について理解できる。 ・緊急を要する検査体制や報告方法、および緊急事態の対処方法について理解できる。 ・検査終了後の機器メンテナンス、試薬管理などについて理解できる。 ・蓄積した検査結果の有効利用および情報発信について理解できる。 ・検査方法や手技の改善や患者動線の改善や検査室環境整備について理解できる。 ・患者さんへの接遇、臨床検査技師に求められる倫理観について理解できる。 					
他科目との関連	医療実践基礎実習、臨地実習、卒業研究、総合臨床演習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	実習レポートの成績				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・大学および天理よろづ相談所病院で作成している各種マニュアル。 ・臨床検査専門科目および共通専門科目で用いた教科書。 ・臨床検査現場で業務を行う臨床検査技師の説明や指示および信念。 					
参考資料	医療実践基礎実習ガイド、臨地実習ガイド、					
備考 (受講上注意、事前学習等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に臨地実習で使用した各種資料などに目を通し必要な準備を行うこと。 ・実習場所、開始・終了時刻の確認、事前の打ち合わせ等を行うこと。 ・学生ごとに事前に配置する検査室を決める（臨地実習の配置部署を参考にする）。 ・自己の体調管理に気をつけるとともに不調時等は担当の大学教員に相談する。 					